

授業科目名	製作あそび演習		担当教員名	白波瀬 達也
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目	
必修-選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / ※令和8年度は開講しません		特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	モノづくりが子どもたちにとって何をもちたすものなのかを考え、素材、用具、道具を使いこなす中で保育現場で展開できる実技活動を行います。造形活動で使用する材料、用具は子どもたちにとって初めて触るものとして、使い方や扱い方、遊び方を伝えていく可能性があります。そのためには正しい知識や技能を習得しておく必要があります。造形活動に使用する材料・用具に日常から興味・関心をもち、いろいろな材料・用具を使った表現を実際に体験しながら造形表現の楽しさと基礎的な手法を学びます。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造形的な基礎知識と、材料や用具などの使い方を理解し、基礎技能を習得して制作できる 2. 造形活動を通して個人で課題を設定し、思考する習慣と力を身につけることができる 3. 造形表現の表現活動の内容に積極的に関心をもち、意欲を授業内外で発揮することができる 			
テキスト	「幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材」樋口一成編著 (萌文書林)			
参考書・ 参考資料等	特になし			
成績評価の方法	ワークシートにまとめ、学びの過程を評価 (60%)、自ら課題を発見し積極的に取り組む授業参加度 (40%)			
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前学習はシラバスに記載している内容を確認し準備しておく。事後学習は授業内容をふりかえりワークシートにまとめおく。授業に関する質問は授業前と授業後に受け付ける。			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	オリエンテーション (子どもの造形活動について) 造形活動で用いる材料や用具などの使い方の基礎 (紙、はさみについて)			1,3
第2回	紙を用いた造形活動の基礎① 折る、切るからの制作 (二つ折りから)			1,2
第3回	紙を用いた造形活動の基礎② 折る、切るからの制作活動 (星、桜、雪の結晶)			1,2
第4回	紙を用いた造形活動の基礎③ 折る、切るからの制作 (連続模様)			1,2
第5回	紙を用いた造形活動の基礎④ 紙の特性、種類について			1,2
第6回	紙を用いた造形活動の応用① 角柱の制作をするための接着と接合について			2,3
第7回	紙を用いた造形活動の応用② 折り目をつけてからの制作を理解する。			2,3
第8回	紙を用いた造形活動の応用③ Pop up card (バクバクカード) 制作から幼児の造形活動を考える。			2,3
第9回	紙を用いた造形活動の応用④ Pop up card (テーブルカード) 制作から幼児の造形活動を考える。			2,3
第10回	紙を用いた造形活動の応用⑤ Pop up card (とび出しカード) 制作から幼児の造形活動を考える。			2,3
第11回	紙を用いた造形活動の応用⑥ Pop up card (ボックスカード) 制作から幼児の造形活動を考える。			2,3
第12回	紙を用いた造形活動の応用⑦ 製本、表紙のデザインと装飾			2,3
第13回	紙を用いた造形活動の応用⑧ ペーパークラフトのまとめ提出			2,3
第14回	素材の研究と実践①紙について 紙の感触の変化を味わい幼児の造形活動を考える。			2,3
第15回	造形の素材と用具について 乳幼児の造形表現活動で用いる素材と用具を画像などの事例を基に理解を深める。			2,3